

いつも心にワーク・ライフ・バランス 多様で柔軟な働き方を応援します

ワーク・ライフ・バランスとは、誰もが、仕事、家庭生活、地域活動、スキル向上などについて自ら希望するバランスで展開できる状態のことをいいます。仕事とプライベートの二者択一ではなく、どちらもバランスを取って行えることで、相乗効果が得られます。市は、仕事と家庭の両立や男女ともに働きやすい職場環境づくりに取り組む事業所をワーク・ライフ・バランス推進認定事業所として認定しています。

認定事業所に勤務し、ワーク・ライフ・バランスを実践している社員の皆さんにお話を伺いました。事業所をくわしく紹介したリーフレットは、2月2日(金)から市ホームページでご覧いただけます。

男女平等参画課 ☎(528)6801

講演&パネルディスカッション ワーク・ライフ・バランスで 企業イメージが上がる!

新卒の大学生等は、企業を選ぶとき、社員のワーク・ライフ・バランスを重視しています。組織として、ワーク・ライフ・バランスを見直すことは、良い人材の確保にもつながります。人事担当者や求職者等にもおすすめの講演会です。ワーク・ライフ・バランス推進事業所の認定式と取組事例の発表も同時開催 2月2日(金)午後1時30分~3時 女性総合センター 定員40人(申込順) 5人程度(1歳~学齢前) 男女平等参画課 ☎(528)6801へ



株式会社コスモ・インテリジェンス
 所在地: 曙町2-32-1 La風山ビル4階
 事業概要: ソフトウェアの受託開発と開発支援、基幹システムの運営と保守開発、情報セキュリティサービスのマネジメント
 従業員数: 42人(男性32人・女性10人)

開発部 第4グループ主任
一ノ瀬 悟さん



株式会社立飛ホールディングス
 所在地: 栄町6-1
 事業概要: グループ持ち株会社、経営方針策定、財務・広報・総務・経理、グループと自社所有不動産開発、新事業推進
 従業員数: 49人(男性34人・女性15人)

総務部総務課 課長補佐
池田 佐江子さん
 総務部総務課 主任
後藤 蓉子さん

各社に共通するポイント

- 職場の風通しの良さ
- 社員への教育制度の充実
- 個々のワーク・ライフ・バランスを各リーダーや上司がサポート
→もちろん、目標達成が前提
- 育児休業、短時間勤務も法定通り
→制度ありきではない、風通しの良い、お互いさまの雰囲気づくり、場づくり

一ノ瀬さんのタイムスケジュール

6:30 起床
ごはんや登園準備など朝の支度を担当

8:00 出発

8:10 保育園に子どもを預ける

8:45 出社

9:00 始業

18:00 退社
週に1、2回は定時に退社してお迎えを担当



——ワーク・ライフ・バランスを見直したきっかけはいつですか?
 育児が始まったときと転職するときです。自分のキャリアアップ、家族の将来などいろいろなことを考えて、会社を選び、生活も見直しました。

——普段から気をつけていることは?
 一つの仕事にかけられる時間の目安を設定してから取りかかります。限られた時間の中で、最大限の結果を出す上では、欠かせないことです。これは、朝の子どもの支度も同じです。でもこちらは、なかなか予定通りにいきませんが(笑)。時間管理の意識を持つことが、仕事と家庭とのメリハリをつけられる秘訣だと思います。

——今の職場の「イチ押しポイント」を教えてください
 人と人とのつながりを大切にしており、なんでも気さくに話せる風通しの良さです。家庭のことだけでなく、自分の将来のキャリアアップについても先輩や上司が親身になって相談に乗ってくれます。

——ワーク・ライフ・バランスを進めるために特別な制度を設けていますか?
 池田: 特に制度はありませんが、アットホームな社風なので、仕事の助け合いは当然という「お互いさま」の気持ちが浸透していて、ワーク・ライフ・バランスを進めやすい環境です。

——就職活動ではどういう視点で企業を選びましたか?
 後藤: 就職活動中からワーク・ライフ・バランスの取れた働き方がしたいと考えていました。入社して8年になりますが、当社に入社できてよかったと思う毎日です。

——現在育児中ですが、ワーク・ライフ・バランスを取る秘訣は?
 後藤: 私のワーク・ライフ・バランスを支えてくれているのは、制度もさることながら「周りの方のサポート」です。妊娠中の体調不良で出勤できない日や、育休中、復職後の子どもの急な発熱などの際に、進んで業務をフォローしてくれる上司・同僚なくしては実現できませんでした。

——産休・育休中に不安に感じたことはありましたか?
 後藤: 漠然とした不安はありましたが、同僚が近況報告をしてくれたり、上司が会社主催のイベントに声をかけてくれたりすることで、復職しやすい空気をつくってもらえたので、安心しました。ただ、長期の休みになるためスキル低下が不安になり、育児の合間にパソコン教室に通うなどしました。

ワーク・ライフ・バランスで 今注目の 「多様で柔軟な働き方」

ワーク・ライフ・バランスで注目されているのは、「多様で柔軟な働き方」です。在宅勤務やモバイルワーク、短時間勤務など、それぞれのライフスタイルや希望に応じた働き方を選択できる機会が増えると、シニア世代や、若者、そして女性など眠っている能力が労働市場で活かされます。



保育園付きのシェアオフィスを立川で立ち上げ、子育て中の女性の「多様で柔軟な働き方」を応援する事業展開をされている森林さんにお話を伺いました。

株式会社Cs PLACE
 代表の森林さんからメッセージ
 ワーク・ライフ・バランスは企業を含め社会全体が健全に成長するために必要な取り組みだと思います。「ワーク」と「ライフ」を調和させることで相乗効果を生み、仕事も生活も充実したものになるよう、これからもがんばる人たちに応援していきたいです。

株式会社Cs PLACE代表 森林 育代さん
 所在地: 錦町1-4-4サニービル2階
 事業概要: 保育園併設コワーキングスペースの運営
 従業員数: 44人(男性5人・女性39人)

JR立川駅南口から歩いて5分、錦商店街にある「Cs TACHIKAWA」は、保育園を併設するシェアオフィス・コワーキングスペースです。ここでは主に30~40代の女性をメインに、創業支援、事務スペースやイベントスペースのレンタル等を行っています。子どもを預けて使用可能なシェアオフィスは、多摩地域でもまだ2つしかありません。「Cs TACHIKAWA」では、働くスタッフのほとんどが育児中で、スタッフやオフィスの利用者には併設保育園に子どもを預けて仕事をしている人もいます。

働き方を見直すポイント

個人

- 1 仕事の優先順位を見直す
- 2 やりたいことを仕事にして創業

企業

- 1 ワークシェアリングの導入
- 2 テレワークの推進

多様な働き方を学ぶ・相談できる場所や事業

自分の企業でも、ワーク・ライフ・バランスについて考えてみたい。

- 働き方・休み方改善コンサルタント 関東労働局 ☎03(6867)0211
- 働き方・休み方改善ポータルサイト 厚生労働省ホームページ内 <http://work-holiday.mhlw.go.jp/>

好きなことを仕事にしたい、会社勤めではない働き方を考えてみたい。

- 各種創業支援セミナーの開催
- 立川市ビジネス相談 専門員による創業、資格、就職などの相談が無料で受けられます。 園市産業観光課・内線2644

どういった働き方が自分にあうか考えてみたい。

- 子育て中の就職などに関する相談窓口 園マザーズハローワーク立川 ☎(529)7465
- 都内での雇用・就業の支援と情報提供 園東京しごとセンター多摩 ☎042(329)4510
- 仕事と家庭の両立や、女性を元気にする講座の開催 園市男女平等参画課 ☎(528)6801